円山動物園のこの動物に注目！

第4回

シンリンオオカミ

動物を身近に感じられるとともに、自然を守る大切さを学ぶことができる円山動物園。ここでは、そんな動物園で暮らす仲間たちを紹介します。

家族を中心とした群れで生活する動物

イヌ科の動物の中で最も大きく頑丈な体をしているオオカミ。両親と子どもで7頭～8頭ほどの群れをつくります。群れの中の上下関係は厳格で、進む方向や狙う獲物は全てリーダーが決定。また、仲間同士は表情や視線で合図を送り、コミュニケーションを取りながら狩りをすると考えられています。

シンリンオオカミ

分　類	ネコ目イヌ科
体　長	1.0m～1.5m
体　重	20kg～45kg
生息地	カナダ北西部、アラスカ
食　性	雑食（主に肉食）

父親のジェイと息子のルーク、ショウの3頭が暮らしています。今の季節は冬毛に生え替わってモコモコになった姿に注目してほしいです。雪が積もった日の開園直後は、はしゃいで走り回る様子が見られるので、特におすすめですよ。

シンリンオオカミの飼育を担当する 高岡（たかおか） 職員

ココが面白い！

獲物を追い続けるための足

100km²～1,000km²ほどの広い縄張りで獲物を追い掛けて走ります。長い距離・時間を走るのに適した、大きな足と縦長の肉球が特徴です。

コラム 動物と環境問題まめ知識

かつて北海道に生息したエゾオオカミは、家畜を襲うなどの理由で駆除されて絶滅。天敵がいなくなったこともあり、エゾシカが増えて牧草地や畑を荒らすなど、多くの被害が出ています。

ココが面白い！

尾にある黒い部分からにおいを出してアピール

しっぽの付け根の毛の色が違う部分は「スミレ腺」と呼ばれるにおいを発する器官。縄張りの主張や異性へのアピールに使います。

開園時間 冬季（11月～2月）9時30分～16時、夏季（3月～10月）9時30分～16時30分
休 園 日 第2・第4水曜（祝日の場合は翌日）、4月・11月の第2水曜を含む週の月曜～金曜
所 在 地 中央区宮ケ丘3
入 園 料 600円。中学生以下、65歳以上、身体障害者手帳などを持つ方は無料。年間パスポートは1,000円
交通機関 地下鉄東西線円山公園駅から徒歩約15分
バス円山バスターミナルからジェイ・アール北海道バス[円15]動物園線、動物園前下車
駐 車 場 959台。駐車料普通車700円
詳　　細 円山動物園☎621-1426